



2009～10 年度  
国際ロータリー会長

ジョン・ケニー

# Weekly Report Niigata



2009～10 年度  
新潟ロータリー会長

小林 敬直



ロータリーの未来は  
あなたの手の中に

2009～2010 年度 国際ロータリーのテーマ

新潟 RC 10 月第4例会 (2009.10.27) No.2822

## (1) ロータリーソング「それでこそロータリー」斉唱

### (2) 小林 敬直会長挨拶

10/24 野球大会ご苦労様でした。成績は後程、発表があります。

先々週の倭健命の話です。

どの国にも、どの民族にも素朴、且つ雄渾な「建国英雄」神話があります。

倭健命は統一国家としての日本を建国するため東奔西走し、力尽きて倒れた古代の英雄である。

父景行天皇が支配した当時、大和朝廷は各地にまつろわぬ人が幡居し、未だ統一国家の体をなしてなかった。

倭健は景行天皇の第三皇子で、幼少の頃から武人としての優れた資質と強靱な体力を備えていた。

父景行天皇に逆らう兄を「手足をもぎ取って殺した」という粗暴と狂気の人物であった。

父景行天皇は本能的に倭健がいつれ天皇の地位を篡奪すると怖れを感じて九州の熊襲討伐の命を下した。時に16才であった。

倭健は九州の熊襲兄弟を殺害、討伐に成功した。

この時に熊襲健から「倭健の御子と名乗り給え」といわれ倭健を名乗ることになる。「健」とは強い男の総称である。

大和へ帰ると、倭健の実力を危惧した父は、非常にも「東へ行き蝦夷を征伐せよ」と命じた。

倭健は、伊勢神宮に仕える倭比売命を訪ね泣く泣く訴えた。「苦勞して熊襲を平定して帰ってきたのに勞いの言葉一つなく軍隊も給わず直ちに十二道の荒ぶる者たちを倒せと、お命じになる父上は私に死ぬと言っておられるのだ」と。

倭比売命は東征する倭健に神宝の草那芸剣を賜った。

倭健は東方の蝦夷をことごとく討伐し大和への帰路を急ぐ。

しかし、更に追討ちをかける様に父景行天皇から伊吹山の妖神退治の命令が届く伊吹山で出会った白い猪を殺したか、この白い猪こそ妖神の化身だった。

祟りを受けた倭健は永雨降る山中を彷徨、半意識を失った。不屈の英雄も遂に力尽きた。

死に臨んだ倭健は、大和を目前にした最後の地、鈴鹿の麓・能煩野で「国偲びの歌」を絶唱する。

倭は国のまほろば、たたなずく山隠れる 倭しうるはし、大和は大変素晴らしい高く秀でた理想的な国だ 重なり合った青々と続く青い垣 豊かな山々に周りを囲まれた麗わしき大和の国よ。

倭健は死後、白鳥となって大和へ飛び去ったといわれている。

この望郷の念の滲み出る哀切 極まりない、「国偲びの歌」は日本民族の魂の表出とも言うべきであろう。「古事記」に伝えられる倭健命の物語は、大和朝廷の全国統一（日本建国）を一人の英雄に託した英雄譚であるが、実に見事に上古の日本人の素朴、且つ雄渾な心情を伝えている。

## (3) 市内7RC 野球大会報告(小柳実)

新潟南RC — 新潟西RC 12:4  
 新潟RC — 新潟西RC 10:10  
 新潟RC, 新潟西RC引き分けによりジャンケン  
 5対2で敗れ、新潟西RC優勝、当RC3位。

## (4) 地区大会表彰の報告(小林会長)

新潟ロータリークラブ 会員増強・拡大賞

徳永 昭輝君 米山奨学 地区奉仕賞 個人表彰  
 本間 彊君 ガバナー賞 個人表彰 地区功労者  
 小柳 実君 ガバナー賞 個人表彰 会員増強  
 柴田 史郎君 ガバナー賞 個人表彰 会員増強  
 田中堅一郎君 永年連続出席100%ロータリアン賞 30年以上  
 本間 彊君 永年連続出席100%ロータリアン賞 30年以上  
 小林 悟さん 永年連続出席100%ロータリアン賞 30年以上

## (5) 委員会報告

### ・秋元雅之親睦委員

10月31日 9:30紫雲GCにてチャリティーゴルフコンペを開催致します。賞品の提供につきましてご協力を宜しくお願い致します。

## (6) 会員スピーチ「職業奉仕月間に因むお話」

職業奉仕担当理事 石本隆太郎君

11月10日の例会予定「70周年について」

ホームページを更新致しました!

新潟ロータリークラブ ホームページアドレス

<http://www.niigatarc.jp/>

\*新潟ロータリークラブ創立70周年記念式典\*  
2010年4月23日(金)

## ロータリー財団月間

中條耕二地区委員長(ロータリー財団委員会) 報告からの引用

地区ロータリー財団委員会 District Rotary Foundation Committee (DRFC) は、次の6つの委員会で構成されます。

1. 年次寄付・恒久基金委員会
2. 補助金委員会
3. 奨学金委員会
4. 学友会委員会
5. ポリオプラス委員会
6. 研究グループ交換(GSE)委員会

【地区ロータリー財団委員会の目的と委員について】

ガバナーは、地区内のロータリアンに対して財団プログラムと募金に参加するよう奨励しますが、それを援助することが私たち地区ロータリー財団委員会の目的です。地区の財団委員会は国際ロータリーの財団委員会と各クラブのロータリアンの連絡役を勤めます。

【ロータリー財団のプログラム】

1. 教育的プログラムは五つあります。  
①国際親善奨学金プログラム、②国際問題研究のためのロータリー・センター・プログラム、③大学教員のためのロータリー補助金プログラム、④研究グループ交換プログラム、⑤ロータリー平和および紛争解決研究プログラム

◆国際親善奨学金

・1学年度(9ヶ月)の国際親善奨学金 ・マルチ・イヤー国際親善奨学金 ・文化研修のための国際親善奨学金

2. 人道的補助金プログラムは四つあります。  
①地区補助金(DSE)、②ボランティア奉仕活動補助金、③マッチング・グラント、④3H補助金(2005-06年度復活)

3. ポリオ・プラス・プログラム

【ロータリーへの寄付】

寄付金は、年次寄付と恒久基金寄付の2種類です。各々3年前の地区年次寄付の全額と(ベネファクターの自発的寄付を含む)恒久基金の運用益の合計が、財団プログラムとして使われます。寄付額は50%が地区財団活動資金(DDF)に50%が国際財団活動資金(WF)に使われ、DDFの20%は地区補助金として還元されます。これはクラブの奉仕活動で使うことが出来ますので積極的にご活用ください。標語「毎年あなたも100ドルを」また、ロータリーカードの財団貢献プログラムもよろしく願いいたします。私たちのロータリー財団が地域社会や国際社会への奉仕をさらに強化、増大していくためには、奉仕活動の充実と資金面の援助が大変重要になります。ご協力くださいますようお願い申し上げます。

ロータリー財団委員長 下岡 正八